



UEDA SHINKIN REPORT 2012.09

上田信用金庫の近況(半期)報告

経営理念

人とのふれあいを大切にし
地域の繁栄に貢献する

経営方針

1. 顧客とのふれあいを通じ、地元の地域金融機関として特化浸透を図る。
2. 知性と感性をみがいて、常に自己革新し、行動力の発揮により、多様化する顧客ニーズに対応する。
3. コミュニケーションとチームワークの強化により、打てば響く職場風土を醸成する。
4. 組織に弾力性と柔軟性をもたせ、環境の変化に対応する。
5. 健全経営により、適正な利益を確保し、会員・地域への還元と職員の裕かな生活環境の確立を目指す。

当金庫の概要 (平成24年9月30日現在)

- 本店所在地 : 上田市材木町 1-17-12
〒386-0014
電話 0268-22-6260
- 会 員 数 : 18,371 名
- 出 資 金 : 706 百万円
- 預 金 : 235,930 百万円
- 貸 出 金 : 104,298 百万円
- 常勤役職員数 : 250 名
- 店 舗 数 : 23 店舗
- ATMコーナー : 33 力所
(店外を含む)



【コーポレートマークについて】

上田信用金庫が激動する環境に柔軟に対応していく姿と地域やお客様とのふれあいを大切にするイメージを表しています。
円は、上田信用金庫の営業区域全体、円の中のUは「上田」&「YOU=あなた=お客様」、中心のSは「しんぎん」&「佐久」をイメージするとともに、その営業区域を縦断する千曲川をシンボライズしています。

ごあいさつ

皆様には、平素より上田信用金庫をお引き立て賜り、厚く御礼申し上げます。

当金庫はおかげさまをもちまして、創立90周年を迎えることができました。

これもひとえに、地域の皆さま方の永年にわたるご支援、ご愛顧のたまものであると深く感謝申し上げます。

皆様に、当金庫についてのご理解を一層深めていただくため、「平成24年度上半期 上田信用金庫の近況報告」を作成のうえ、平成24年9月期の業績等についてご報告させていただきますので、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

さて、きわめて遺憾なことに当金庫元職員による不祥事件の事実が判明致しました。

信用を第一とする信用金庫にあって、このような不祥事件を発生させましたことを深く反省しております。

かかる事態を厳正に受け止め、役職員一同再発防止に向けて万全の対策を実施し、また、法令遵守態勢を一層整備のうえ、信頼回復に全力を尽くしてまいりますので、何卒ご理解賜り、今後ともよろしくお引き立てのほどお願い申し上げます。

平成24年11月

理事長 小林 哲哉

未来へと繋ぐ、90周年。



1 預金・貸出金の状況

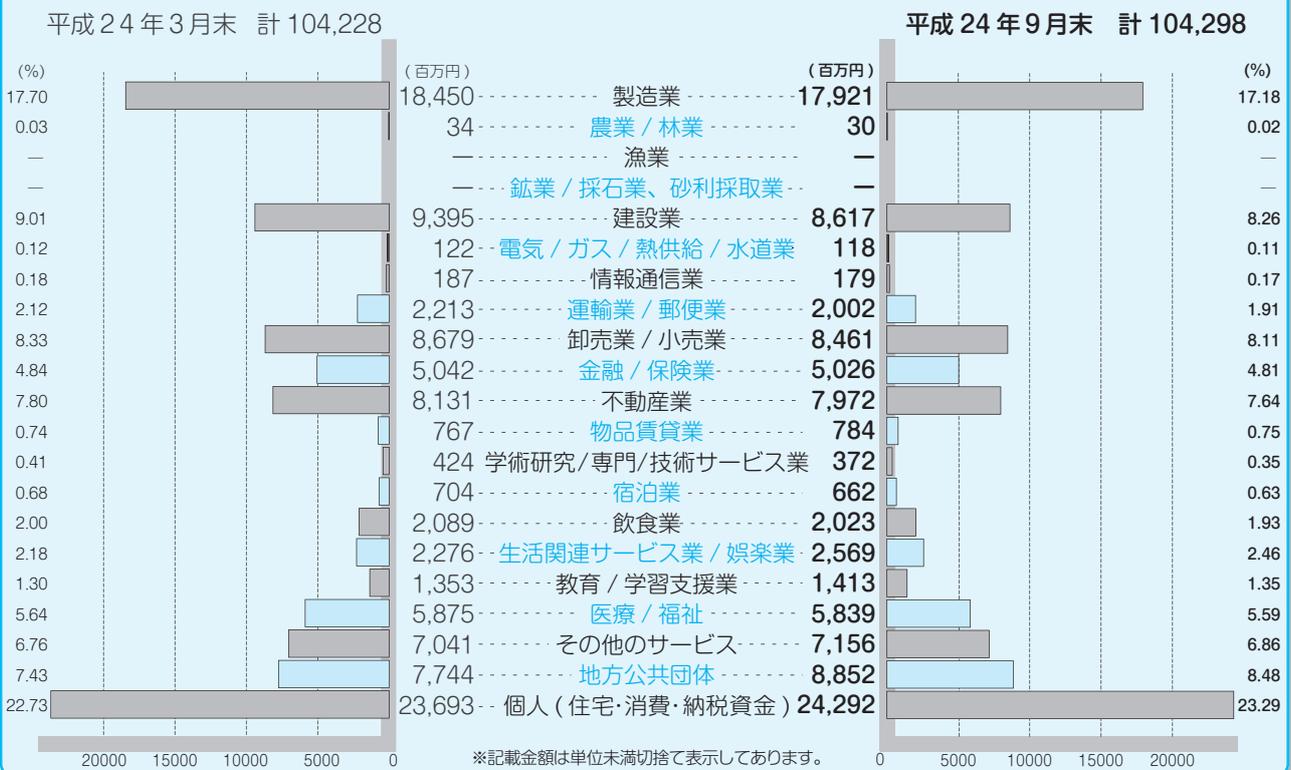
預金は、個人、法人、金融機関、公金とすべてにおいて増加したことから、平成24年3月末比で6,396百万円増加して、2,359億30百万円となりました。

貸出金は、法人のうち製造業については、超円高による受注単価引下げ、建設業については公共事業の減少により減少した反面、地公体への貸出増加1,108百万円及び個人において住宅資金を中心として599百万円と大幅に増加したことから、平成24年3月比で70百万円増加して、1,042億98百万円と貸出金の減少に歯止めがかかりました。

● 預金残高（預金者別）



● 貸出金残高（業種別）



2 収益の状況

業務収益は、資金運用収益が149百万円、国債等債券売却益が71百万円それぞれ前年同期より減少したこと等により総体で前年同期比214百万円減少し、1,850百万円となりました。業務費用は、経費が前年同期比53百万円減少するとともに、資金調達費用も25百万円減少したため、総体では前年同期比78百万円減少し1,655百万円となりました。これにより業務純益は前年同期より136百万円減少し195百万円の計上となりました。また、貸倒引当金戻入益40百万円及び債権償却取立益57百万円減少したこと等により、経常利益は前年同期より240百万円減少し248百万円となりました。なお、特別損失として減損損失27百万円を計上いたしましたが、当期純利益は前年同期比125百万円減少し218百万円となりました。

(単位：百万円)

	平成23年9月末	平成24年9月末	対前年同期比 増減額
業務純益	332	195	△ 136
コア業務純益	191	122	△ 69
経常利益	488	248	△ 240
当期純利益	344	218	△ 125

※各諸表の記載金額は単位未満切捨て表示してあります。

※本報告は、経営の透明性・信頼性・正確性をより高める観点より当金庫が自主的に開示するものであります。

3 不良債権の状況

金融再生法上回収に懸念のある不良債権(開示債権)残高は、平成24年3月末比163百万円増加、結果として貸出金全体に占める割合(不良債権比率)は6.69%となっております。

不良債権とは、回収に懸念のある債権であります。これらすべてが回収不能ということではありません。

適正に評価を実施した担保による保全及び適正な貸倒引当金の計上により十分にカバーされており、その対応には万全を期しております。

●金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況

(単位：百万円、%)

区 分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b) / (a)	引当率 (d) / (a - c)	
金融再生法上の 不良債権	平成24年3月末	6,873	6,152	3,195	2,957	89.50	80.39	
	平成24年9月末	7,037	5,887	2,927	2,959	83.66	72.01	
	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	平成24年3月末	1,207	1,207	913	294	100.00	100.00
		平成24年9月末	947	947	591	355	100.00	100.00
	危険債権	平成24年3月末	5,607	4,910	2,263	2,647	87.57	79.18
		平成24年9月末	6,027	4,903	2,314	2,588	81.35	69.72
要管理債権	平成24年3月末	58	33	18	15	56.89	37.50	
	平成24年9月末	62	36	21	15	58.44	36.30	
正 常 債 権	平成24年3月末	98,311						
	平成24年9月末	98,121						
合 計	平成24年3月末	105,185						
	平成24年9月末	105,158						

※金融再生法上不良債権と呼ばれる債権とは下記の債権を言います。

- ・破産更生債権及びこれらに準ずる債権：破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権
- ・危険債権：債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りが出来ない可能性の高い債権
- ・要管理債権：3ヶ月以上延滞債権、及び債務者の再建や支援を目的として、債務者に有利な一定の譲歩を与える条件の変更等を行なった貸出債権

4 貸付の条件の変更等の実施状況について

(平成24年9月末時点)

○平成21年12月4日に施行されました「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の第4条、第5条に基づく貸付の条件の変更等の、平成21年12月4日から平成24年9月30日までの実施状況は下記の通りであります。

○なお、同法の第7条に基づく「実施状況の開示」(法律で定められた開示)につきましては、平成22年5月を初回として、以降半期毎に開示いたします。

【中小企業者】

(単位：件/百万円)

	申 込		実 行		謝 絶		審 査 中		取 下 げ	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
全 体	6,584	68,792	6,354	66,506	28	297	70	716	132	1,272
うち、信用保証協会等による保証を受けていなかった貸付債権	4,503	55,715	4,394	53,997	13	219	40	574	56	924
	実 行 率		96.5%	96.6%						

【住宅資金借入者】

(単位：件/百万円)

	申 込		実 行		謝 絶		審 査 中		取 下 げ	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
全 体	122	1,125	92	847	1	19	5	36	24	221
	実 行 率		75.4%	75.2%						

(注1) 件数・金額は、法施行日から上記時点までの累計です。尚、審査中のみ平成24年9月末時点の件数・金額であります。

(注2) 上記件数は、債権ベースで集計しております。また、百万円単位未満は切捨てしております。

(注3) 上記実行率は、実行件数・金額を申込件数・金額で除したものであります。

5 単体自己資本比率

自己資本比率は金融機関の経営体力を示す評価基準となるものですが、信用金庫のように国内だけで業務を行う金融機関の場合、この自己資本比率が4%以上あれば健全で問題のない金融機関とされております。当金庫の自己資本比率は、16.90%(平成24年9月末現在)と国内基準の4%を大幅に上回っております。

(単位：百万円)

項 目	平成24年3月	平成24年9月
(自 己 資 本)		
出資金	703	706
利益準備金	706	706
特別積立金	12,950	12,950
繰越金(当期末残高)	27	245
その他有価証券の評価差損(△)	—	—
基本的項目(A)	14,387	14,609
一般貸倒引当金	591	459
補完的項目不算入額(△)	49	—
補完的項目(B)	542	459
自己資本総額 [(A)+(B)] (C)	14,929	15,068
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	2,194	2,194
基本的項目からの控除分を除く、自己資本控除とされる証券化エクスポージャー及び信用補完機能を持つI/Oストリップス(告示第247条を準用する場合を含む。)	1	—
控除項目不算入額(△)	2,194	2,194
控除項目計(D)	1	—
自己資本額 [(C)-(D)] (E)	14,927	15,068
資産(オン・バランス)項目	79,461	81,881
オフ・バランス取引等項目	609	580
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	6,680	6,680
リスク・アセット等計(F)	86,751	89,141
単体Tier1比率(A/F)	16.58%	16.38%
単体自己資本比率(E/F)	17.20%	16.90%

※自己資本比率について

自己資本比率は、下記の方法により算出します。

$$\text{自己資本比率(\%)} = \frac{\text{自 己 資 本 額}}{\text{信用リスク・アセットの額} + \text{オペレーショナルリスク相当額を8\%で除して得た額}} \times 100$$

※記載金額は単位未満切捨て表示しております。

上記の平成24年3月、平成24年9月については、自己資本比率規制の一部を弾力化する特例(平成20年金融庁告示第79号)に基づき、「その他有価証券の評価差損」を基本的項目から控除しておりません。なお、平成24年9月末の「その他有価証券の評価差損」の額(346百万円)を控除して計算した場合には、自己資本比率は16.51%となります。

6 有価証券の状況

(単位：百万円)

区 分	平成24年3月末				平成24年9月末				
	時 価	評価差額	評価益	評価損	時 価	評価差額	評価益	評価損	
その他有価証券	株 式	1,369	△ 177	35	212	1,131	△ 282	10	292
	債 券	64,258	233	314	80	66,024	525	589	64
	その他	6,565	△ 627	49	677	6,349	△ 590	68	659
	小 計	72,193	△ 571	399	970	73,505	△ 346	668	1,015
区 分	時 価	含み損益	評価益	評価損	時 価	含み損益	評価益	評価損	
満期保有目的 有価証券	債 券	5,557	210	210	—	5,645	302	302	—
	その他	2,717	△ 183	14	198	2,756	△ 144	16	160
	小 計	8,274	26	225	198	8,401	158	318	160
合 計	80,467	△ 544	624	1,168	81,907	△ 188	986	1,175	

(注) 1. 時価のあるものについては市場価格等に基づき、時価のないものについては帳簿価格等によって記載しております。

2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託およびその他の証券です。

●しんきんトピックス

★交通安全黄色いハンカチの贈呈等 平成24年4月
 県下6しんきん共同により、地域の新入学児童全員に「交通安全黄色いハンカチ(交通傷害保険付)」を贈呈致しました。

★献血活動 平成24年7月26日
 毎年、信用金庫の日になんで、当金庫職員が献血活動に参加致しました。(今年度34名)

★金融教育プログラム 平成24年8月2日(木)
 地元の子供たちに、「金融の基礎知識やお金の大切さ」を学んでもらうために金融教育プログラムを実施致しました。
 当日、小学3年～6年生28名が、「お金に関するクイズ」「おこづかい帳のつけ方」「本部・本店の見学」「1億円の重さ」について受講・体験いたしました。

★しんきんふれあい講演会
 会員をはじめとするお客様の親睦を深めるために、上小地区店舗合同で講演会を開催致しました。

平成24年度 上小地区講演会
 日時 平成24年9月20日(木)
 講師 野村 克也さん
 演題 「もう一つの管理学・一流の条件」

★夏まつりへの参加
 恒例の「上田わっしょい」をはじめとして、東信地域の各種イベントに参加致しました。

7月21日(土)上田祇園祭
 7月28日(土)上田わっしょい、御代田龍神祭
 8月4日(土)丸子ドドンコ、東御市民まつり、小諸ドカンショ、白田よいやさ
 8月10日(金)塩田花市
 8月12日(日)丸子花市
 8月25日(土)川辺町祭り



献血活動



金融教育プログラム①



金融教育プログラム②

住宅ローンの他にもしんきんには
 マイカー、教育、リフォーム等
お得なローンがいっぱい!!

各種お問い合わせ等は
 ローンセンター専用フリーダイヤルまで

住宅ローンをはじめとした各種個人ローンの専門店



土日も営業
 いたします!!

平日は
夜7:00まで!!
 [水曜除く]

営業時間 平日 10:30 ~ 19:00
 土日 10:30 ~ 17:00

休業日 ●毎週水曜日 ●平日の祝日
 ●8/13~8/16 ●12/31~1/3

しんきんローンセンター専用フリーダイヤル

0120-019-416

現在、しんきんとお取引のない方でもご利用いただけます。

上田信用金庫

<http://www.ueda-shinkin.jp/>

〒386-0014 上田市材木町 1-17-12 業務部 TEL.0268-22-6260